

**奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票**

調査日	2018年	3月	27日	記入者	久門たつお
調査者名	小倉	久門	鈴木	中辻	

調査対象先	春日神社				
所在地	山辺郡山添村春日			電話番号	
代表者 調査対応者	氏子総代の寺畑恭典さん、村文化財連絡員の杉本周一さん				
対象文化財	彫刻	県指定: 1件	国宝: 1件	重文: 1件	
	建造物	県指定: 1棟	国宝: 1棟	重文: 1棟	

**地震対策**

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input checked="" type="checkbox"/> その他(県指定の本殿は2010年に県の補助も得てほぼ30年ぶりに造替した。屋根の檜皮葺は全て取り替え、弱くなった部材は更新した。補強の効果もあったと考えている。)	
	今後の予定	特にないが、地震対策は県教委の方針に従いたい。	
	要望	特にない。	

**防火対策**

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本殿、拝殿、社務所と、境内の春日区公民館には煙感知機、公民館に制御盤を設けている。異常発生時は氏子役員宅に通知が入るシステム。消火器、火災報知機は公民館に設置している。	
	今後の予定	本殿脇の杉の巨木に2017年7月、落雷があり、杉の一部が裂け、本殿の塀に被害があった。避雷針設置も検討したが、設置するとかえって落雷を誘発するとの意見もあり、見送る方針。	
	要望	特にない。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )	
	今後の予定		
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	春日神社
-------	------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	山間地なので周辺ではイノシシなどが出没しているが、元々、神社周りに囲いがあり、被害は出ていない。白アリ被害もない。

本殿は一間社春日造り。寛永10年(1633)建造



本殿手前の拝殿。右奥に杉の巨木



本殿には春日大社との縁を忍ばせる鹿の彫り物が



2017年夏の落雷で皮が裂けた本殿近くの杉の巨木



境内の公民館の煙感知機制御盤と防火プレート



【調査票記入者(久門たつお)の感想】

2010(平成22)年の造替工事で屋根の檜皮葺を取り替え、弱くなった部材を更新したとのこと。耐震性については一歩前進と言えるが、詳しい耐震診断が必要と思われる。